

# 男女共同参画ひろば いっぱい いっぱい

市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぱい いっぱい”取り組みを進めています。

自分らしく輝ける社会へ



問合せ／人権・市民相談課 ☎273

## 男女共同参画キーワード

### 地域力×女性力=無限大の未来

内閣府では、平成27年度男女共同参画週間(6月23日～29日)のキャッチフレーズを募集し、2,331点の中から上記の作品が選ばれました。

この作品には、女性の力を生かして元気な地域社会をつくるために、身近な女性の活躍を地域ぐるみで応援しましょうというメッセージが込められています。

男女共同参画週間にあわせて市内で行った主な事業を紹介します。

### 家族でやってみようジェンダーチェック

生物学的な性差に対し、「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的役割分担など社会的、文化的につくられた性差をジェンダーといいます。男らしく、女らしくに分けるのではなく、ジェンダーにとらわれない「自分らしさ」「その人らしさ」を尊重し、多様な選択を認め合う気持ちが大切です。

子どもは家庭での親の姿を見て、ジェンダーを形成する部分が大きいといわれています。市では小学4年生を対象にジェンダーチェックシートを配布し、家族一緒にジェンダーについて考える機会を設けました。

### 図書展示とパネル展示

男女共同参画関連図書の展示・貸出を中央図書館で行いました。性別にかかわらず自分らしい生き方ができる社会の実現を願い、ワークライフバランスをはじめ、出産や育メン、ジェンダーフリーなどをテーマにしたものを展示しました。

また、市役所では、1997年に日本の南極観測史上初の女性越冬隊員となった坂野井和代さんと東野陽子さんが、実際に南極で生活したときのようすを写真付きパネルで紹介しました。坂野井さんは、1987年に女性初の南極観測隊員に選ばれ、南極海の観測を行った森永由紀さんに憧れて南極観測隊員を志しました。東野さんは、子どもの時に見た図鑑で地球に興味を持ち、地球内部の研究のために南極に行きました。



## パブリックコメント(市民意見提出手続)を実施します

～富士見市男女共同参画プラン(第3次)見直し(案)について～ 問合せ／人権・市民相談課 ☎273

富士見市男女共同参画プランとは、「男女共同参画社会基本法」、「富士見市男女共同参画推進条例」に基づき、男女が対等なパートナーとして、性別にかかわらずその個性と能力が発揮できる社会の実現のための基本的な計画です。

市では、平成22年から10年間を計画期間とし「富士見市男女共同参画プラン(第3次)」を策定し、市民と行政がそれぞれの役割を担い計画を進めています。

このたび、その計画の中間年にあたり、社会情勢の変化に的確に対応するためにプランの見直しを図ります。

つきましては、見直し(案)について、市民の皆さんから意見を募集します。

募集期間／

8月11日(火)～9月10日(木)



意見の提出方法／パブリックコメント記入用紙に記入し、郵送または直接提出してください。

※市ホームページからも用紙の入手と意見の提出ができます。

計画(案)の閲覧および用紙の配布／

市役所1階「市政情報コーナー」、人権・市民相談課、各公民館・交流センター・コミュニティセンター、中央図書館、図書館鶴瀬西分館、市ホームページ

意見の提出先／

●郵送・持参

〒354-8511 (所在地は記載不要)

富士見市役所人権・市民相談課

●市ホームページの専用フォームをご利用ください。

注意点

意見提出の際は、住所・氏名などの記入が必要です。住所・氏名などは公表しませんが、匿名での意見は受け付けません。また、いただいたご意見に個別の回答は行いませんが、検討を終えたときは、ご意見の内容およびそれに対する市の検討結果とその理由を公表します。